

**千葉大学医学部附属病院で
内視鏡的逆行性胆管膵管造影と
それを利用した治療手技を受けられた
患者の皆様、ご家族の皆様へ**

2025年10月8日

消化器内科

消化器内科では、内視鏡的逆行性胆管膵管造影とそれを利用した治療手技の成績と処置後経過に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に診療情報をを利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1980年1月1日～2025年9月30日の間に千葉大学医学部附属病院で
内視鏡的逆行性胆管膵管造影とそれを利用した治療手技を受けられた方

1. 研究課題名

「内視鏡的逆行性胆管膵管造影および関連治療の成績と予後に關する後方視的研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

内視鏡を利用して胆管と膵管を造影する方法と、それを利用した治療の方法は、胆道と膵臓の病気に対する診断と治療に欠かせないものとなっています。千葉大学医学部附属病院ではこの手技を1970年代から導入し20,000例以上行ってきました。短期的な有効性・安全性のみならず、長期的な経過の検討も必要です。胆道と膵臓の病気においてこの治療を20,000例以上で検討できる施設は世界的にも限られています。この研究は、当院での処置成績や処置後の経過を短期的・長期的な有効性・安全性について検討し、今後の治療に役立てる目的としています。この研究は、今までに診療録に記録された情報を用いて行います。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている病気の種類、年齢、性別、日常生活自立度、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、血液学的検査等の臨床検査結果、内視鏡検査時の情報、採取された検体の情報、内視鏡検査後の経過など。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 講師 大山 広

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。
情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

消化器内科 講師 大山広
043(222)7171 内線5241